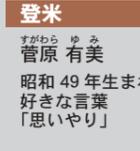


## 地区コーディネーター 私たちにご相談を



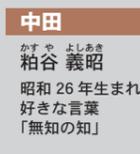
**迫**  
佐藤 美枝  
昭和47年生まれ  
好きな言葉  
「共存共栄」



**登米**  
菅原 有美  
昭和49年生まれ  
好きな言葉  
「思いやり」



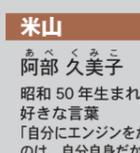
**東和**  
石沢 真美  
昭和42年生まれ  
好きな言葉  
「若さ！情熱！正義感！」



**中田**  
柏谷 義昭  
昭和26年生まれ  
好きな言葉  
「無知の知」



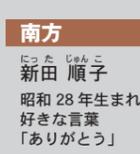
**豊里**  
吉田 ちあき  
昭和50年生まれ  
好きな言葉  
「平穩無事」



**米山**  
阿部 久美子  
昭和50年生まれ  
好きな言葉  
「自分にエンジンをかけるのは、自分自身だからね」



**石越**  
阿部 咲子  
昭和49年生まれ  
好きな言葉  
「らしさ」を大切に。「やればできる！」



**南方**  
新田 順子  
昭和28年生まれ  
好きな言葉  
「ありがとう」



**津山**  
西條 紀子  
昭和47年生まれ  
好きな言葉  
「心に太陽を！一人を大切に日々感謝！」

学校とボランティア、ボランティア間の連絡調整を行い、学校と地域をつなぐ役割を果たすのが「地区コーディネーター」です。市教育委員会では、この地区コーディネーターを市内9地区に一人ずつ委嘱し、各地区の教育事務所に配置しています。

地区コーディネーターは、「ボランティアの協力が欲しい」という学校の要望と「地域の子どもたちのために、ボランティア活動をしたい」という地域住民の思いを仲介する役割を担います。学校と地域住民、お互いのニーズをマッチングするのが地区コーディネーターです。

学校の要望に応じて地域の

## 学校と地域住民のニーズを マッチングする地区コーディネーター



市生涯学習課  
千葉 加代 社会教育指導員

情報を集め、チラシを作ったり、ボランティアを募集したり、地区の教育事務所と連携し、個人や団体にボランティアへの協力を要請したりします。そして、学校のニーズと地域の力を効果的に結び付けていくのです。

さらに、学校やボランティアから活動後に感想や思いを聞き取り活動の様子をまとめながら、さらなる活動の充実につなげていきます。

## 地区コーディネーターの役割



学校支援ボランティアの問い合わせは市教育委員会生涯学習課（☎0220-34-2698）か、最寄りの教育事務所まで

子どもたちの登下校を見守るスクールガード



のりこ  
幸野 徳子さん  
(東和町・錦織3)

## 子どもたちの輝く瞳がうれしい 学校とのつながりが、またできた

平成24年9月から錦織小学校で読み聞かせのボランティアをしています。読み聞かせは、低学年の児童を対象に月1回のペースです。

きっかけは、ボランティアの募集案内をたまたま目にしたこと。孫の小学校卒業が近づき、これから地域の学校とのつながりがなくなると、さみしい気持ちでした。

そんな時に募集を見て「私にもできるかも」と思い、軽い気持ちで申し込みました。

申し込んだ人が他にもたくさんいると思っていました。応募は私一人、と聞いてびっくりしました。

始めた頃は子どもたちの反応がとて心配でした。でも、読み終えた後に「次は何を読んでもくれるの」と瞳を輝かせている姿を見たときは、とてもうれしかったですね。

読み聞かせのボランティアを始めてから、地域の学校とのつながりがまたできました。まだまだ頑張りたいですね。

## 子どもたちが 毎回楽しみに



錦織小  
小野 純司 教諭

本の読み聞かせは、子どもたちに本の楽しさを知ってもらおうと取り入れています。幸野（徳子）さんは子どもたちに寄り添うように読んでくれます。柔らかい言葉で語るの、子どもたちも本の世界に引き込まれているようです。月1回の読み聞かせの時間を子どもたちは楽しみにしています。「本を好きになった」「いろいろな本を読んでほしい」という感想も寄せられています。

## 登録ボランティアの思い



よしゆき  
織田 義之さん  
(中田町・寺山)

## 「よさこい」を通じ子どもたちの 成長する姿を見るのが楽しい

地元のyosakoi(よさこい)ダンスチーム「舞姿道(ぶしどう)みるく」の代表をしています。5年ほど前から、中田中の3年生に「よさこい」を授業の中で教えています。よさこいは夏休み明けの運動会で披露しています。

毎年時期が来ると、コーディネーターの方と学校に向いて指導のスケジュールを決めます。練習は6月から夏休み前まで週1、2回のペース。チームのメンバー3人から6人で指導に当たります。最初は、振り付けや声出しを恥ずかしがっていた子どもたちが、練習の回数を重ねるごとに意欲的になってきます。やる気を見せなかった生徒も、怒らず一人一人認めてあげること、だんだんと変わってきます。そんな子どもたちの成長を見るのは、とても楽しくやがいがありません。指導した子どもたちから、卒業後に声を掛けてもらえるのもうれしいですね。

## 生徒たちを うまく指導



中田中  
鈴木 司 教諭

中田中の3年生による「よさこい演舞」は、総合学習の時間を利用し、織田（義之）さんたちから指導をいただいています。中総体が終わった3年生にとって、運動会で披露する「よさこい」は、みんなで一つのことをやるというモチベーションにもつながっているようです。織田さんは子どもたちの扱いが上手ですね。気持ちを乗せるのがうまく、生徒たちも楽しんで取り組んでいます。